

灯



わが家では祝日には国旗を掲揚するので、庭に小さいながらも国旗掲揚のポールがある。母が元気な頃は孫を集め、国歌を歌いながら掲揚したものだっ

た。
本紙も祝日には必ず1面左上に国旗を印刷しており、大切なことと感している。私の学園でも毎朝、生徒会が国旗と校旗

祝日と国旗掲揚



草野 義輔

の掲揚を行っているが、残念ながら最近では祝日に国旗を街中で見かけることが少なくなったように思う。

それにはさまざまな理由が考えられるが、一つには祝日のあり方に問題があると思う。労働時間短縮を目的に休日増を、という流れの中で連休を増やすた

め、決まっていた祝日の幾つかを近接の月曜日にするという祝日法案が10年ほど前に成立した。

以前は「成人の日」といえば1月15日、「敬老の日」といえば9月15日であったが今年はそれぞれ1月10日、9月19日の月曜日となっている。1月10日は雪模

様でもあったためか掲揚をつい忘れてしまった。しかし、2月11日や5月3日などは国旗掲揚を忘れることはまずない。

祝日があいまいになればなるほど国旗の掲揚もあいまいになってしまう印象が強い。国旗はその国の象徴であり、国際交流が進めば進むほど国旗の重要性を感じる人が多い。

祝日法には不満であるが、祝日には忘れずに国旗掲揚を続けていきたいと思っている。(昭和学園高校理事長・日田市)